

アデノウイルス

感染症

(プール熱・はやり目)

? どんな病気なの?

アデノウイルスに感染したことで起きる病気です。型によって症状は異なりますが、「プール熱(咽頭結膜熱)」や「はやり目(流行性角結膜炎)」がよく知られています。6月ごろから流行り始め、7月～8月でピークを迎えます。感染力は非常に高く、便や唾液・くしゃみ、目ヤニなどを介して広がります。

夏をピークに
流行します!

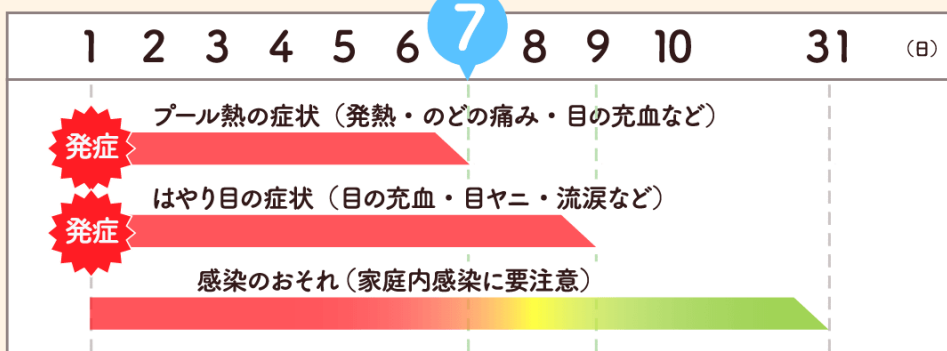


アデノウイルス感染症の特徴

かかりやすい 時期	かかりやすい 年齢	感染経路	感染力	潜伏期間
夏	5歳以下	接触・飛沫	高	2～14日

発症から完治までの目安

治るまでの目安は7日



具体的な症状 ▶▶

アデノウイルス感染症

(プール熱・はやり目)

? どんな症状がでるの?

アデノウイルス感染症の中でも、プール熱とはやり目は感染が広がる可能性があります。下記の症状が現れたらすぐに病院へ。

プール熱（咽頭結膜熱）にみられる症状

- ☐ 39度以上の発熱が3～4日続く
- ☐ のどの痛み、腫れ
- ☐ のどの奥の両脇（扁桃）が赤くなり、白っぽい分泌物が出る
- ☐ 食欲不振
- ☐ 目の充血や目ヤニが出る
- ☐ 下痢や嘔吐（赤ちゃんの場合）

のどが痛み、
結膜炎も
発症します！



はやり目（流行性角結膜炎）にみられる症状

- ☐ 目の充血や目ヤニ、涙が出る
- ☐ 目の中がごろごろして痛い
- ☐ 目の周辺やあごの下のリンパ節が腫れている

何度も
感染する
ことも！



上記の症状がみられたら感染の疑いがあります。ほかの子どもにうつさないためにも、保育園や幼稚園の登園は控えてください！

アデノウイルス感染症

(プール熱・はやり目)

！ 合併症にも要注意！

高熱が出ると、白目をむき、体が硬直する熱性けいれんを起こす場合があります。数分で治まるので慌てずに病院へ。また稀にプール熱は重い肺炎を起こしたり、はやり目は角膜炎や視力低下を起こす場合があります。

けいれんが
起きても
慌てないで！



！ 治療法

アデノウイルス感染症には特効薬はなく、病院から処方された解熱剤やのどの痛み止め薬、整腸剤などを内服し、症状を緩和します。結膜炎には、炎症や細菌感染症の合併を予防する点眼薬などが処方されることも。プール熱と はやり目は医師による登園の許可が必要なので、必ず再受診してください。

病院の登園許可が
必要な病気も！



アデノウイルス感染症には、プール熱やはやり目以外にも、乳幼児がかかりやすい「呼吸器感染症」や、腹痛や嘔吐、下痢などを伴う「胃腸炎」、排尿時に痛みがあり、血尿が出る「出血性膀胱炎」などの病気があります。

アデノウイルス感染症

(プール熱・はやり目)

🏠 ホームケアのポイント

受診後は安静に！

プール熱の場合、熱が下がるまで4～5日ほどかかります。症状が辛いときは病院から処方された薬を内服し、家で安静にして過ごしましょう。

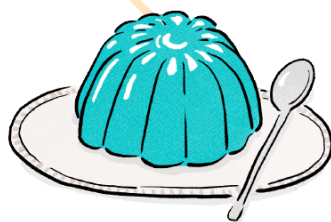
感染防止対策をして
安静に！



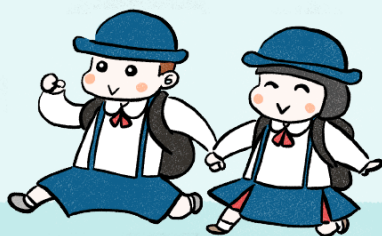
こまめな水分補給

発熱やのどの痛みで水分がとれず、脱水症状を起こす可能性があります。のどごしのいい冷たいゼリーやプリン、スープなどを少しずつ与えて、こまめな水分補給を心がけてください。

脱水症には
気を付けて！



保育園や幼稚園はいつから通える？



登園の目安は**7**日後

プール熱とはやり目は、学校保健安全法により、病院の許可が必要です。プール熱は発熱やのどの痛み、結膜炎などの症状が解消して2日経ち、医師の許可があればOK。はやり目は医師が感染のおそれがないと認めるまで登園は控えてください。

アデノウイルス感染症

(プール熱・はやり目)



家庭内感染を防ぐためのポイント

飛沫と接触が主な感染経路のプール熱は、発症後2週間は感染力が非常に高いといわれています。家庭内感染には十分に気を付けてください。

ウイルスの侵入をシャットアウト！

1 手洗い

帰宅後は石鹸で手をよく洗ってください。また、ウイルスは便や唾液、目ヤニなどから排出されるので、おむつ交換や目ヤニのケアをした後は石鹸でしっかり手を洗いましょう。

ケア後の
手洗いも
忘れずに！



2 プール後のケア

夏のプールで感染する場合もあるので、プールから上がった後は体だけではなく、目もしっかり洗わせ、うがいもさせてください。

目も
しっかり
洗って！



3 家族間の共有はNG

家族間の感染を防ぐため、タオルや食器などは共有せず、別々に用意しましょう。お風呂も最後に入れさせるか、シャワーで済ませるようにしてください。

タオルなどは
別々に用意して！

